

# Shinsaibashi Reform Magazine

vol. 7

Reform Clinic  
by  
Dr. Kumiko



あの名品が現代に蘇る!!  
Dr. 久美子のリフォームクリニック  
石津謙介氏の遺品に触れる!の巻





コンテンツのなかには多くの before & after 例を紹介していますが、ここでは私がいつもさせていただいているフィッティングの模様をご紹介します。捨てられなくて筆筒のなかで眠っていた名品の数々はこうして生まれ変わりますという仕上がりも同時にご覧いただければ幸いです。

今回はニッポン・アイビーの生みの親、石津謙介氏の跡をとっておられる石津事務所の代表石津祥介先生からお直しのご依頼を頂きました。私も今回ばかりはちょっとドキドキですが、いつも通りキチッと仕上げさせていただきたいと思います。



内本久美子 \_ Uchimoto Kumiko

心齋橋リフォーム副社長  
丸の内店店長兼チーフフィッター  
大阪府大阪市出身 O 型 蠍座

大手百貨店の販売を経て、個人でお直し工房をはじめる。職人の手ほどきを受け、ゼロからスキルアップを果たす。心齋橋リフォームの礎となる接客から始めるリフォームを築き上げた会社の顔であり、業界のパイオニア的存在でもある。

## Reform Clinic by Dr.Kumiko



石津先生とは「アメリカントラッドクラブ」や「アイビーナイト」などアイビー愛好家の方々が集まる席で一緒させて頂いたことをきっかけに日頃から良くしていただいております。あるとき先生から「石津謙介の遺品をはじめ、見て欲しいものがあるので一度事務所に遊びにきませんか」とお声がけを頂き、意を決して東京・青山にあるオフィスを訪ねました。

コムデギャルソンやプラダのお店がある通りから一本裏側に入った閑静な住宅地の一角に石津事務所がありました。趣のある事務所の扉を開けると石津謙介先生のポートレートをはじめとした在りし日のメモリアルを集めた一角があり、私はそこに通していただきました。ひとつひとつが大変興味深いものばかりで暫し見入っていました。



正にマニア垂涎です。



VANが教えてくれたアメリカンスポーツの一片。



こちらの書は石津謙介先生の自筆とか。



なぜコック帽なのか解らないけどこれはカワイイ。



## 石津 祥介 イシヅ ショウスケ

石津事務所代表 服飾評論家

1935年岡山市生まれ。明治大学文学部中退後、桑沢デザイン研究所卒。その後、婦人画報社「メンズクラブ」編集部を経て、1960年(株)ヴァンチャケット入社、主に企画・宣伝部と役員兼務。1965年の写真集「TAKE IVY」著作の1人。日本メンズファッション協会常務理事、日本ユニフォームセンター理事歴任。

暫くすると、先生がいくつかのジャケットを携えてこられました。

## 【お直しのご依頼はこちらの3点です。】



### 1 「AL」のハリスツイードジャケット

AL(アル)は1971年、石津謙介先生とデザイナーの近藤年子さんの協業で生まれたショップです。デザイナーの近藤先生は、私と同じ大阪出身で、山崎豊子さんの小説「女の勲章」のモデルとなった方です。VANでは出来ない物・事をコンセプトに商品はオリジナルとセレクトの二本柱で展開されていたそうです。こちらのジャケットは1972～3年製のALオリジナルで、かつて謙介先生がお召しになられていたものです。現在、祥介先生がお召しになるのには全体的にサイズが大きく、またゴージラインが低いのが気になるのと伺いました。



2

### 「Kent Ave」石津謙介生誕100周年モデル

Kent Ave は1972年、当時のヴァンジャケットがドレス衣料を中心にしたショップ展開を目的に「Mr SHOP Kent」一号店という名称でスタートされたと伺いました。2007年に店舗名を現在のKent Aveに変更したそうですが、マニアの間では今でも元町ケントと呼ばれ、親しまれています。こちらのブレザーは2011年に発売された石津謙介生誕100周年の記念モデルです。祥介先生はインナーにスエットシャツなどカジュアルなものを合わせてもしっかりくるようにというご要望をいただきました。



3

### 「VAN」のテーラードを手がたファクトリー製

こちらはVAN全盛の時代にジャケットやスーツといった重衣料の生産を手がけられたファクトリー製のジャケットです。色と素材感が素敵な一着ですが、こちらは肩周りが少し大きいということで調整させていただくことになりました。



今回のお直しは先生のお好きなシルエットに近づけることを前提に、現代の感性を取り入れてお直しを施させていただきました。



肩線を解いて3cmほど上げさせていただきました。こうすることでウエストのシェイプポイント、ゴージ位置、着丈、ボタン位置を従来のバランスのまま身体にフィットさせることができます。



普段、アンコン仕立てのジャケットを好んでお召しになる先生のライフスタイルに合うように肩パッドを取り外しました。また少し身幅が大きかったので、少しだけタイトに調整させていただきました。



肩幅が広く、肩のラインも平行でしたので、肩幅を詰め、肩傾斜をナチュラルショルダーに近づけるよう調整させていただきました。またアームの幅も少し太いようでしたのでそこも調整させていただきました。

如何でしょう？  
これなら先生もご満足頂けると思います。

**Reform Clinic**  
by  
**Dr.Kumiko**



---

最後に先生と記念写真を撮らせていただきました。

今回の訪問では色々と貴重なお話を伺いましたので、機会を見て私共心齋橋リフォームのWEBサイトでご紹介させていただきたいと思います。

どうぞお楽しみに。

